

## 第4期

## 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

株式会社ガスパル四国

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
<b>流動資産</b>	<b>158,168</b>	<b>流動負債</b>	<b>141,003</b>
現金及び預金	83,840	買掛金	44,994
売掛金	64,303	リース債務	339
製商品及び仕掛品	4,760	未払金及び未払費用	63,758
原材料及び貯蔵品	1,495	未払法人税等	11,492
前払費用	2,286	賞与引当金	18,232
その他	1,482	預り金	1,855
<b>固定資産</b>	<b>696,284</b>	株式給付引当金	323
<b>有形固定資産</b>	<b>678,728</b>	その他	8
建物及び構築物	676,611	<b>固定負債</b>	<b>330,601</b>
工具器具備品	418	長期借入金	306,520
リース資産	1,698	リース債務	763
<b>投資その他の資産</b>	<b>17,555</b>	株式給付引当金	1,399
差入保証金	1,833	資産除去債務	21,917
前払年金費用	2,723	<b>負 債 合 計</b>	<b>471,605</b>
繰延税金資産	12,998	( 純 資 産 の 部 )	
		<b>株主資本</b>	<b>382,847</b>
		<b>資本金</b>	<b>40,000</b>
		<b>利益剰余金</b>	<b>342,847</b>
		その他利益剰余金	342,847
		繰越利益剰余金	342,847
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>382,847</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>854,453</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>854,453</b>

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ① たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品	最終仕入原価法による低価法
仕掛品	個別法による原価法
貯蔵品	個別法による原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

(リース資産を除く)

定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物	15年
工具器具備品	2～6年

##### ② リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### (3) 引当金の計上基準

##### ① 賞与引当金

従業員の賞与の支給に充当するため、支給見込額を計上しております。

##### ② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（及び年金資産）の見込額に基づき計上しております。

数理計算上の差異は、各事業年度における発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（8年）による定率法により按分した額を、発生した事業年度から損益処理しております。

##### ③ 株式給付引当金

株式給付規定に基づく従業員の親会社（大東建託株式会社）株式の給付に備えるため、給付見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

#### (4) 収益及び費用の計上基準

① ガス事業売上高 検針基準

② 完成工事高及び完成工事原価 工事完成基準

#### (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

② 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

### 2. 当期純損益金額

当期純利益 35,063千円